

平成26年10月25日
神付市民農園管理組合

8月中旬から再三の台風と長雨で、畑仕事に皆さん大変苦勞をされたのではないのでしょうか。土が乾かないため、種まきや植え付けが遅れてしまったという声をよく聞きました。1日種まきが遅れると成長で20日の遅れが出るといいます。今が秋野菜の一番大きくなる時期で、しばらく見ない間に見違えるほど大きくなります。菜の色が少し浅いなあというときは追肥をすとか、密生しているときは間引くとか、野菜と話しながら育てるのも楽しみの一つです。

今年の春、たくさんかぼちゃの花が咲いているのに、ミツバチがほとんどいないことに気づきました。その原因の一番は、ネオニコチノイドという成分の入った農薬を使うとハチが死んでしまうことがわかりました。野菜作りに大変重要な役割をしているにもかかわらず気にも留めていなかったミツバチ。収穫祭で専門の先生から講演をしていただく予定です。是非ご出席ください。

秋の収穫祭

11月8日(土) 午前10時(雨天決行)

講演 ハチの生態とミツバチにやさしい農薬の使い方

兵庫県立大学名誉教授・人と自然の博物館名誉研究員

大谷 剛先生

野菜の品評会 自分の畑で作った野菜を出品して下さい。

参加費 中学生以上500円、小学生300円、幼稚園以下無料

参加される方は交流館のボードに名前を書いてください。



たまねぎオーナーを募集します。

貸し農園Aゾーンから100メートルほど離れた少し遠い場所になりますがご利用下さい。

1区画1500円(畝の長さ5m)。まだ畑の準備は出来ていませんが、10月末には準備できると思います。苗も販売します。

申し込みは、交流館のボードに貼ってある申込書に名前を書いてください。

お願い

野菜の残渣置き場は、ゴミ捨て場ではありません。
ビニールの紐、マルチ、ネットなどは必ず管理棟まで
持ってきてください。

